

# チャペル週報

No. 7

2013. 5.20 ~ 5.24

希望はわたしたちを欺くことはありません。  
わたしたちに与えられた聖霊によって、  
神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。

(ローマの信徒への手紙 5:5)



西宮聖和キャンパス グッドホープメモリアルチャペル

関西学院宗教センター

---

## ☆チャペル・スケジュール☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

- 5月20日(月) 神 <ペンテコステ礼拝> 柳 本 伸 良 (神学研究科M1)  
経 「経済と人間④」 田 中 敦 (経済学部教授)  
人 音楽チャペル ゴスペルクワイアP.O.V.  
聖和 聖書物語「ゆるしの王子」
- 
- 5月21日(火) ランバスチャペルアワー「希望を与える神」 永 富 美 加 (神3)  
ランバス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原)  
院 ランバスチャペルアワーに合流  
神 ランバスチャペルアワーに合流  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 大学で学ぶとは?① 鈴 木 慎一郎 (社会学部教授)  
法 災害復興支援活動について(2) 杉 浦 健 (ヒューマンサービスセンター)  
経 「経済と人間⑤」 春 井 久 志 (経済学部教授)  
商 新 谷 陽 介 (広報室課長補佐)  
国 宮 田 由起夫 (国際学部教授)  
聖和 小 見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事)  
総 西 本 昌 二 (総合政策学部教授)
- 
- 5月22日(水) 神 ゴスペルクワイア (Power Of Voice) による音楽礼拝  
社 音楽チャペル バロックアンサンブル  
法 English Chapel Christian Morimoto Hermansen (宣教師)  
経 「経済と人間⑥」 藤 原 憲 二 (経済学部准教授)  
商 山 本 俊 正 (宗教主事)  
国 ペンテコステをおぼえて  
聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)  
理 「あなたがたは世の光である」 前 川 裕 (宗教主事)  
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
- 
- 5月23日(木) 神 中 田 道 隆 (神学研究科M2)  
文 音楽チャペル バロックアンサンブル  
社 大学で学ぶとは?② 盛 山 和 夫 (社会学部教授)  
法 音楽チャペル 聖歌隊  
経 「経済と人間⑦」 前 田 高 志 (経済学部教授)  
商 ハーブによる癒しの英語チャペル Carol Sack (米国福音ルーテル教会宣教師)  
国 English Chapel 植 田 恵 子 (ノースキャロライナ州立大学講師)  
聖和 「PHD協会の活動から考える『生きることは分かち合うこと』」  
井 上 理 子 (PHD協会職員・聖和大学人文学部卒)  
総 学生会 宗教総部
- 
- 5月24日(金) 神 土 門 稔 (神学研究科M1)  
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)  
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)  
人 人間について考える① 中 野 陽 子 (人間福祉学部教授)  
聖和 「自然を生きる」 中 川 香 子 (聖和短期大学教授)  
理 「幼子はたくましく育ち」 前 川 裕 (宗教主事)
- 

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)  
5月24日(金) 教育学部のために 日 浦 直 美 (教育学部長)

---

# ペンテコステを覚えて

東 よ し み

キリスト教の教会暦の中で、最も重要なイースター（復活祭）に続く祝日は昇天日、そしてペンテコステ（聖霊降臨日）です。ペンテコステは、復活したイエスによって聖霊が注がれたという出来事を覚えるものです。この出来事は、イエスの弟子たちが、いかにイエスの復活を経験し、解釈したのかを伝えるものでもあります。その意味で、イースターがコインの表であれば、ペンテコステはその裏であると言うことができます。

この出来事は使徒言行録2章に報告されています。五旬祭のために集まっていた人々は、突然、大きな音を天から聞きます。それは烈しい風のような音で家中に響きわたりました。そして炎のような舌がその場にいた人それぞれの上にとどまるのを見ます。すると、人々は聖霊に満たされ、様々な国の言語を語りだします。この出来事に、エルサレムのユダヤ人たちが集まり、驚きます。

続くペテロの説教が、この出来事を解釈していきます。ペテロによれば、この出来事は終末の時に、神がすべての人に霊を注ぐというヨエル書の預言の成就です。それだけではなく、この出来事はイエスの復活と結びつけて捉えられます。「それで、イエスは神の右に上げられ、約束された聖霊を御父から受けて注いでくださいました。あなたがたは、今このことを見聞きしているのです」（使徒2:33）。

ペテロによれば、復活したイエスが、今、賜物としての聖霊を天から注いでくださったのです。弟子たちにとって、復活し、天に上げられたイエスは、遠く天にいる過去の存在ではありません。復活したイエスは、聖霊を注ぐことで、地上の弟子たちを力づける、現在に生きて働く方なのであり、「主」、「メシア」（使徒2:36）なのです。

復活のキリストから、賜物としての聖霊を注がれ、力づけられるというペンテコステの出来事は、イエスの弟子たちに限定される経験ではなく、時と場所を超えてすべての人に開かれています。「この約束は、あなたがたにも、あなたがたの子供にも、遠くにいるすべての人にも、つまり、わたしたちの神である主が招いてくださる者ならばだれにでも、与えられているものなのです」（使徒2:39）。

ペンテコステのこの時期、わたしたち一人一人に聖霊が注がれ、新しい力が与えられますように。

（神学部助教）

## ●国際シンポジウム：「平和への権利」が切り拓く未来

「平和への権利宣言」を一つの手がかりとし、世界の各地で生じている「構造的暴力」をくい止めるための人権の果たす役割を広く社会に伝え、日本や世界各地の人権のとりくみがどのように平和の創造につながるかを考える。また、国連での専門的な議論を、世界各地で生じている事実と関連づけることで、平和と人権の関係及び、『平和への権利宣言』の必要性について考える。

と き：5月28日（火）13:30～16:40

ところ：関西学院会館レセプションホール

プログラム：

Part 1 国際社会の動き（13:30～15:00）

「生まれつつある平和への権利－見果てぬ夢か」

坂元茂樹（神戸大学大学院法学研究科教授）

『「平和への権利」が切り拓く未来：マイノリティ人権時代の開幕』

武者小路公秀（大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター特任教授）

Part 2 現場からの報告（15:10～16:40）

「女性と子どもの静かな死：タイ南部の紛争と暴力の経験から」

アンカナ・ニーラバイジット（平和のための正義財団理事長）

『「自分の国に帰る権利」から平和を考える～ブータン難民の事例』

根本かおる（ジャーナリスト）

モデレーター：川村暁雄（関西学院大学人間福祉学部教授）

主 催：関西学院大学

## ●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門を入れて右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。5月に入ると、関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

5月30日（木）関西学院バロックアンサンブル

6月3日（月）関西学院大学応援団総部吹奏楽部

6月4日（火）関西学院交響楽団管楽アンサンブル

6月6日（木）関西学院聖歌隊

6月10日（月）関西学院交響楽団弦楽アンサンブル

6月13日（木）関西学院ゴスペルクワイアPower Of Voice

いずれも12:50～13:20

ところ：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

主 催：宗教センター・宗教音楽委員会

## ●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブローズタワー 14 階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。（18:00～18:20 1405 教室）

5月24日（金）舟木 讓（経済学部宗教主事、大学宗教主事）

5月31日（金）Andreas Rusterholz（文学部宗教主事）

## ●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の基金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。